

北薩感染症情報

2023年第21週(5月22日～5月28日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1

北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課

電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127

E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎：警報発令中 ○：注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル			川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始 基準値	終息 基準値	注意報 基準値	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報	前週 報告数 (人)	今週 報告数 (人)	定点 報告数	前週 からの 増減	警報 注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	18	11	1.57	↓	—	1	—	—	↓	—
	COVID-19	—	—	—	16	31	4.43	↗	—	20	18	3.60	↓	—
小児科定点	RS	—	—	—	3	7	1.75	↗	—	6	13	4.33	↗	—
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	4	7	1.75	↗	—	7	2	0.67	↓	—
	A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—	1	1	0.25	→	—	11	5	1.67	↓	—
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	23	7	1.75	↓	—	4	2	0.67	↓	—
	水痘	2.0	1.0	1.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	手足口病	5.0	2.0	—	—	3	0.75	↗	—	3	1	0.33	↓	—
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	突発性発疹	—	—	—	3	2	0.50	↓	—	2	—	—	↓	—
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	3	20	5.00	↗	—	3	—	—	↓	—
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	5	1	1.00	↓	—	—	—	—	→	—
基幹定点	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—
インフルエンザ 入院報告	—	—	—	—	—	—	→	—	—	—	—	→	—	
報告数合計		—	—	—	76	90	—	↗	—	57	41	—	↓	—

<注意報・警報>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

<全数報告>

- ・川薩保健所管内 梅毒1例
- ・出水保健所管内 追加 梅毒3例(第17週、第19週、第20週)

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>

- ・川薩保健所管内 なし
- ・出水保健所管内 なし

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	川薩保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	20W	21W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	0.43	0.71	1.14	0.29	—	—	0.29	2.57	0.86	1.57
	COVID-19	—	—	/	/	/	/	/	/	/	2.29	2.29	4.43
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	2.75	1.50	—	5.25	7.00	6.50	1.50	0.75	0.50	1.75
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	—	—	—	—	0.50	—	—	1.00	0.50	1.75
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	—	—	—	—	0.25	—	0.75	0.25	0.50	0.25
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	5.50	2.75	2.50	4.00	2.00	3.00	1.75	5.75	5.50	1.75
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	0.50	—	0.25	—	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	—	—	0.25	—	—	—	—	0.25	0.75
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.50	0.50	—	0.25	0.25	0.25	0.50	0.75	0.25	0.50
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	—	—	—	—	0.50	0.75	3.00	5.00
眼科定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	0.25	—	—	—	—	—	—
	急性出血性結膜炎	1.00/0.1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
基幹定点	流行性角結膜炎	8.00/4.00	—	1.00	—	—	3.00	2.00	—	4.00	5.00	3.00	1.00
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

定点種別	疾病	警報/終息 基準値	注意報 基準値	出水保健所管内推移 (定点報告数) 基幹定点(報告数掲載)									
				12W	13W	14W	15W	16W	17W	18W	19W	20W	21W
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.00/10.00	10.00	1.40	2.00	4.00	1.40	—	—	—	0.40	0.20	—
	COVID-19	—	—	/	/	/	/	/	/	/	1.40	4.00	3.60
小児科定点	RSウイルス感染症	—	—	0.33	0.67	0.33	—	—	1.67	1.33	1.67	2.00	4.33
	咽頭結膜熱	3.00/1.00	—	0.67	1.33	—	0.33	1.33	2.33	0.67	1.33	2.33	0.67
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.00/4.00	—	2.00	0.67	1.00	0.67	0.67	1.00	0.33	2.00	3.67	1.67
	感染性胃腸炎	20.00/12.00	—	3.67	2.00	2.00	1.33	4.33	2.33	2.67	0.33	1.33	0.67
	水痘	2.00/1.00	1.00	—	—	—	—	—	—	—	0.33	—	—
	手足口病	5.00/2.00	—	—	0.33	—	—	—	—	—	—	1.00	0.33
	伝染性紅斑	2.00/1.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	突発性発疹	—	—	0.67	—	—	0.33	0.67	0.33	0.67	0.67	0.67	—
	ヘルパンギーナ	6.00/2.00	—	—	—	0.33	—	—	2.67	3.00	1.67	1.00	—
基幹定点	流行性耳下腺炎	6.00/2.00	3.00	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	マイコプラズマ肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	クラミジア肺炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに限る	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

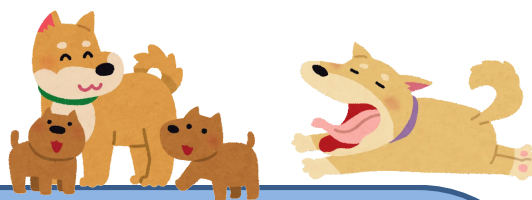
★第 21 週に関しては、川薩・出水ともに注意報・警報域の疾患はありませんでした。川薩では先週と比較し COVID-19, ヘルパンギーナが急増しています。RS ウイルス感染症も川薩, 出水ともに倍以上になっています。感染症予防に努めましょう。

★新型コロナウイルスに関する参考資料
 新型コロナウイルス感染症 「診療の手引き」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000936655.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「病原体検査の指針」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>

新型コロナウイルス感染症 「罹患後症状のマネジメント」
<https://www.mhlw.go.jp/content/000952747.pdf>

コロナについて寄せられた質問など



Q. コロナの検査を受けたい。

→かかりつけもしくは最寄りの医療機関へ電話でお問い合わせください。実施している機関としていない機関があります。

Q. コロナの自宅療養証明書の発行をしてほしい。

→MY HER-SYSというサイトよりご自身で発行が可能です。なお、2022年9月26日以降に陽性になった方は、65歳以上もしくは妊娠中の方、重症化リスクの高い方など、病院から保健所に届出があった方のみ発行可能です。

Q. コロナ陽性になり、自宅療養をした期間は入院給付金の請求ができると聞いた。

→ご本人様の加入している保険の種類によって異なります。保健所ではわかりかねますので、保険会社さんにお問い合わせください。

Q. 家族が帰省後、コロナになった。どうすればいいのか。

→保健所からの健康観察や自宅待機要請などはありません。ご自身の判断でかかりつけの病院を受診したり、自宅療養を行ったりしてください。医療機関受診時に発熱を伴う場合は医療機関に電話し、指示に従ってください。また、接触していた方々は、数日以内に発症する可能性がありますので、マスクの着用や人混みを避けるなど、感染拡大防止にご協力ください。



はしかの由来は「はしかい(かゆい)」からきています。
昔は「赤もがさ(赤い天然痘)」といわれ、徳川綱吉の死因だったのではないかと考えられています。



はしかとは...?

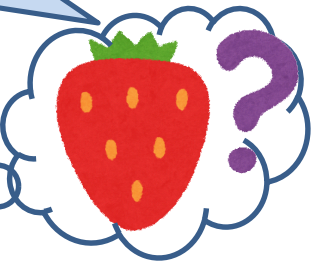
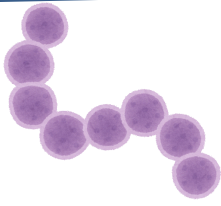


江戸時代にはしかが流行した時も、自粛ムードがあったとか...

麻疹ウイルスによって起こる病気です。その感染力はウイルスの中でも強く、麻疹を発症している人と同じ部屋にいただけで(空気)感染することがあります。他にも飛沫感染、接触感染にて感染します。潜伏期間(ウイルスが体内に侵入してから身体に症状が現れるまでの期間)は10日程です。初期症状としては発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2~3日続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。さらに、肺炎、中耳炎も合併しやすい感染症です。

はしかは感染力の極めて高い感染症ですので、はしかかなと思った場合は、公共交通機関の利用は避け、必ず医療機関に電話してから、受診をお願いいたします。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎って...？



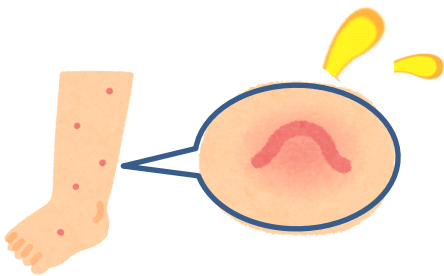
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎って...？

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はA群溶血性レンサ球菌を原因菌として、扁桃炎や伝染性膿痂疹(とびひ)、中耳炎、肺炎、化膿性関節炎など、様々な症状をきたします。舌が苺のように赤く腫れるなどの特徴もあります。感染してから症状が現れるまでの期間(潜伏期)は、2~5日(とびひが現れるまでは7~10日)です。春から初夏にかけて流行する感染症ですので、これからの時期、特に気をつけましょう。

ワクチン開発はされていませんが、治療薬で後遺症もなく治癒します。しかし、リウマチ熱や腎炎、敗血症性ショック等の合併症を起こしやすいので内服により症状が治まってからも、決められた期間、しっかりと抗菌薬を飲み続けることが大切です。

※とびひ...全身に水膨れやびらん、かさぶたなどを形成する。

どうやって感染するの...？



①水泡の内容物に触れた後で
粘膜を触る(口など)

②感染者の唾を吸い込んだり、
唾のかかった食品を食べたりする

感染しないようにするには...？

- ①手を洗う
- ②正しくマスクを着用する
- ③うがいもしっかり行う
(ブクブクうがい→ガラガラうがい)



ブクブクうがい
(口腔内の雑菌を排出)

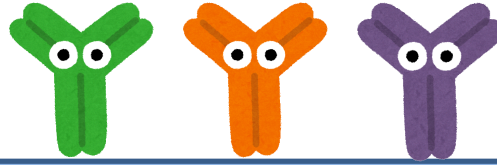


ガラガラうがい
(のどの奥までゆすぐ)

飛沫感染による感染症が増えています！



飛沫感染とは...？



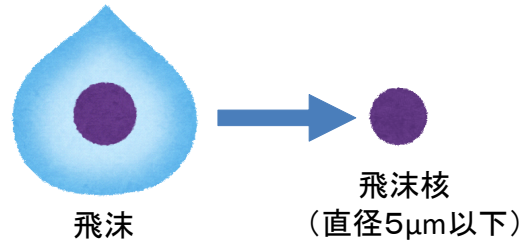
飛沫感染とは、唾液とともに排出された細菌やウイルス(飛沫)が体内に侵入することで成立する感染の仕方のことです。飛沫はくしゃみや咳により排出されます。一般的に風邪といわれる感染症はこの飛沫感染によりうつることが多く、マスクの着用(口や鼻の保護)やゴーグル(目の保護)が効果的です。

飛沫感染により成立する感染症...インフルエンザ, 新型コロナウイルス感染症, 百日咳,

RSウイルス感染症, 咽頭結膜熱, ヘルパンギーナ, 水痘, 手足口病, 伝染性紅斑(りんご病), 突発性発疹, 流行性耳下腺炎(おたふく風邪), 風疹など
(感染症の多くは飛沫感染により成立します。)



他の感染経路(感染の仕方)は...？



感染経路は上記の『飛沫感染』に加え、『空気感染』、『接触感染』の主に3つに分類されます。1つの感染症につき感染経路は1つとは限りません。

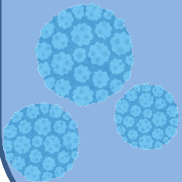
空気感染...排出された飛沫が乾燥などで小さくなり、空気中を漂います。それを吸い込むことにより感染が成立します。飛沫の水分が蒸発し、直径5μm以下になったものを飛沫核というため、飛沫核感染ともいわれます。

感染対策)N95マスク(微粒子対応マスク)着用, 個室管理
対象感染症)結核, 水痘, 麻疹など



接触感染...細菌やウイルスが付着したものに触れることをきっかけに体内に侵入し、感染が成立します。付着するだけではほとんどの場合は感染しませんが、汚染された手で粘膜(目, 鼻, 口)に触れることで感染します。

感染対策)手洗い, 手指消毒, 物の共有をしない
対象感染症)感染性胃腸炎(嘔吐下痢症), 流行性角結膜炎(はやり目)
インフルエンザなど



飛沫感染



空気感染
(飛沫核感染)



接触感染